

自主営業で奮闘する東部労組めがねお一支部

全国一般東京東部労働組合書記長

須田 光照

東京・御徒町の昭和通り。「いらっしやいませ」。雑居ビルの1階、ドアを開けると、桑原博志さんの元気な声が聞こえた。小さな店内にはメガネやサングラスがずらりと並ぶ。

ここはコロナ禍の廃業・解雇の危機から労働組合が守ったメガネ販売店「めがねおー御徒町店」。桑原さんは全国一般東京東部労組めがねお一支部の委員長である。このお店の自主営業を桑原さんがスタートしてから今年8月1日で1周年を迎えた。「遠くから労組や市民団体の仲間が買いに来てくれる支援があったからこそまで頑張れた。今後でも継続したい」と桑原さんは笑顔で語った。

■ 闘争方針を背景にした交渉

2020年5月、桑原さんたち東部労組めがねお一支部に、経営者は新型コロナウイルス感染拡大の影響で経営難に陥ったとして、御徒町店のほかに当時は秋葉原店

もあつた「めがねおー」両店を閉店し会社解散すると突然通告してきた。

東部労組の本部執行委員会は、桑原さんとともに、ただちに対策会議を開いた。そこで確立されたのは、廃業と解雇を強行してくる場合にはストライキに入ると同時に店舗にみんな泊まり込んで職場占拠闘争に断固として打って出る方針だった。

こうして臨んだ団体交渉で、桑原さんが解決策の一つとして検討してきた「店舗の譲渡による自主営業」を要求。経営者は全店舗の閉鎖にこだわり、当初は難色を示したが、闘争方針を背景にした組合側の粘り強い交渉の結果、御徒町店の譲渡に合意できた。

協定内容は、秋葉原店の閉店と会社解散自体は認めるものの、御徒町店の賃貸借契約の実質的な継続、メガネ加工機や在庫商品などの譲渡、看板や店内装飾もそのまま、お店の屋号やホームページも維持という形で、桑原さんが納得できるものとなった。

◆特集 闘う労働者に学ぶ

なお、桑原さん以外にも支部組合員が2人いたが、当初の両店舗閉店の方針を経営者に示された段階で、退職に同意、その後の交渉にも参加しなかった。

こうした経過をたどって「めがねおー御徒町店」は2020年8月1日から桑原さんの自主営業によって継続されることとなった。

■ 社長に譲歩させた階級闘争の観点

今回の成果を導き出したのは、階級闘争の立場・観点・方法である。

世間にまん延している「コロナだから仕方ない」「社長が廃業を決めたらあきらめるしかない」といった資本家からの思想攻撃に労働者自身が打ち勝てたことが闘争を成立させた前提条件である。

東部労組めがねおー支部は、経営者のパワハラや残業代不払いなどの是正を求めて2014年に結成。いずれの要求も団体交渉を重ねながら実現したが、その過程で桑原さんは経営者という存在の身勝手さを肌で感じるとともに、労働者の団結体である労働組合への信頼を獲得した。

こうした実践を通して「コロナでも声を上げていいんだ」「労働組合の闘いで生活を守ろう」という労働者

の価値観が確立されていた。だから闘いに立ち上がるこ
とができた。

そのうえで重要だったのは、ストライキや職場占拠など具体的な闘争態勢である。結果的にそれらを実行することなく解決に至ったが、闘争の背景がない中で、どれだけ陳情や説得を重ねたとしても経営者は譲歩しなかったに違いない。

今回の団体交渉で同席していた会社側の弁護士が「決裂した場合の東部労組のやり方はわかっている。(4年前に東部労組が職場占拠を闘った) マルゴー支部のようになるのは覚悟しないとイケない。社長宅に押しかけた時のインターネットの動画も見た」と言って、むしろ社長に譲歩の判断を促した光景が象徴的である。

労働者と資本家とは利害が正面からぶつかるという認識に立つこと、そして労働者が利益を守るためには、結局、闘争と団結という方法によるしかない。これが教訓である。

■ 労働者の決起を呼びかける「拠点」

1970年代の中小企業労働運動における倒産争議で自主生産・自主営業は多く取り組まれてきた。自主生産を堅持している事業体が残っている一方で、営利企業

◆特集 闘う労働者に学ぶ



自主営業する「めがねおー」御徒町店

コロナの解雇や雇い止めが増えているにもかかわらず、「こういうご時勢だから」とか「社長も大変だから」と委縮のムードが労働者全体に漂っている状況で、めがねおー支部の経験と成果は労働者が立ち上がるこ

との市場競争で淘汰されてしまったところも多い。あるいは営利企業と同じような事業体に変質してしまっただけも少なくない。

こうした歴史を踏まえて自主営業を選択した東部労組めがねおー支部の存在意義はどこにあるか。

桑原さんは労働組合への加入や労働相談を呼びかける宣伝のティッシュやリーフレットを店舗に設置しお客さんに配布している。

とを励ます「実例」となる。

桑原さんは「閉店を告げられた時は自分も頭が真っ白で不安だったが、泣き寝入りしなくて本当に良かった。すべての労働者があきらめず、泣き寝入りせず、声を上げてほしい」と話している。

私たちは次の労働者の決起を呼びかける「拠点」として、めがねおーの自主営業を今後も継続していきたい。みなさんにも力を貸していただくよう心よりお願いいたします。めがねおー御徒町店でのメガネの購入をぜひご検討ください。

(すだ みつてる)

〈めがねおー御徒町店〉
所在地…東京都台東区上野5-15-12 原ビル1階
・JR御徒町駅南口3分
・東京メトロ日比谷線 仲御徒町駅2番出口すぐ
電話…03-6906-7222
営業時間…平日は11時～19時半、土日祝は11時～19時
休日…毎週水曜日＋お盆・年始